



Photostud

THE FLOWER CUP

第39回 フラワーカップ (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 38,000,000円 15,000,000円 9,500,000円 5,700,000円 3,800,000円
付加賞 567,000円 162,000円 81,000円



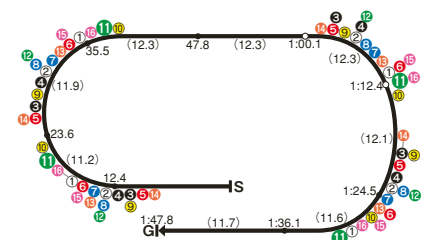
レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.3.22 中山 晴・良 芝1800m (国際) (特招)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑪	レーゼドラマ	牝3	55	戸崎圭太	1:47.8	2-2-2-1	35.4	464(-2)	14.4⑤	辻野泰之(栗東)	107
2	④	バラディレーヌ	牝3	55	川田将雅	2½	12-12-10-12	34.8	498(-4)	1.9①	千田輝彦(栗東)	102
3	⑫	ゴソーファー	牝3	55	津村明秀	クビ	9-9-10-9	35.0	462(+2)	6.9④	手塚貴久(美浦)	101
4	⑦	ジョスラン	牝3	55	横山武史	1	7-8-8-8	35.5	474(-4)	6.6③	鹿戸雄一(美浦)	99
5	①	ミッキーマドンナ	牝3	55	佐々木大輔	クビ	4-4-4-2	35.8	458(+4)	5.6②	堀 宣行(美浦)	
6	⑤	ハギノピアチェーレ	牝3	55	藤懸貴志	1¼	15-15-14-13	35.2	462(-2)	46.7⑨	高野友和(美浦)	
7	③	レーヴドロベラ	牝3	55	大野拓弥	1¼	13-14-14-14	35.4	446(-2)	19.6⑥	加藤士津八(美浦)	
8	⑩	ヴォンフレ	牝3	55	江田照男	1¼	5-5-4-4	36.5	468(±0)	177.3⑬	村田一誠(美浦)	
9	⑨	ホリーアン	牝3	55	松岡正海	¾	7-7-7-6	36.4	438(+6)	343.0⑯	萱野浩二(美浦)	
10	⑧	ホウオウガイア	牝3	55	丸田恭介	ハナ	9-9-9-9	36.1	436(±0)	32.5⑧	大竹正博(美浦)	
11	⑪	ジャルディニエ	牝3	55	北村宏司	½	13-13-13-14	35.9	442(+4)	62.4⑩	奥村 豊(栗東)	
12	②	キョウエイタイコ	牝3	55	横山和生	½	9-9-10-9	36.2	466(±0)	192.9⑭	勢司和浩(美浦)	
13	⑥	インヴォーク	牝3	55	田辺裕信	3¼	5-5-4-6	37.4	476(-4)	24.0⑦	福永祐一(栗東)	
14	⑬	コンテナライン	牝3	55	三浦聖成	6	16-15-16-16	37.4	486(+14)	340.4⑮	高柳大輔(栗東)	
15	⑭	エナジーショット	牝3	55	横山琉人	¾	3-3-2-3	38.7	414(±0)	55.8②	矢嶋大樹(美浦)	
16	⑩	ハードワーカー	牝3	55	石川裕紀人	1¼	1-1-1-4	39.1	482(-2)	107.9⑪	竹内正洋(美浦)	

単勝⑪1,440円(5¼) 複勝⑪250円(5¼) ④130円(1¼) ⑫190円(3¼) 枠連②-⑥410円(1¼)
馬連④-⑪920円(4¼) ワイド④-⑪380円(3¼) ⑪-⑫1,060円(11¼) ④-⑫350円(2¼)
馬単①-④3,660円(10¼) 3連複④-⑪-⑫1,950円(4¼) 3連単⑪-④-⑫19,600円(56¼)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.5 - 47.8 - 1:00.1 47.7 - 35.4

アラカルト

- ・戸崎圭太騎手はフラワーC初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算81勝目
- ・辻野泰之調教師はフラワーC初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算8勝目
- ・キズナ産駒はJRA重賞通算43勝目
- ・非当選馬 1頭(ショウナンサムデイ)

レーゼドラマ Lesedrama

牝 鹿毛 2022.5.12生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・宥社台レースホース 栗東・辻野泰之厩舎
馬名意味・読まれることを目的とした脚本形式の文学作品

シアードラマUSA系 F23-b

キズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat
		Pacific Princess
シアードラマUSA Sheer Drama 栗毛 2010	Burning Roma 鹿毛 1998	Rubiano
		While Rome Burns
	Riveting Drama 鹿毛 1994	Notebook
		Special Token

5代までのインブリード：Northern Dancer S 5×M 5

INTERVIEW

本多 泰成 調教厩舎長(社台ファーム)

本当に嬉しかったです

5月生まれですので成長を阻害しないように意識して調教に取り組みました。敏感なハミ受けやスキミなど、わかりやすく課題を突き付けてくれたので、こちらら腹を括って向き合えました。レース後、戸崎騎手の「タフな馬なので自分から仕掛けていった」というコメントを聞いて、やってきたことは間違っていないと言ってもらえたようで本当に嬉しかったです。

T.Terashima



の戸崎圭太騎手は2番手に腰を落着け、流れに乗る。2、3番人気に支持されたエピファネイア産駒の良血馬のうち、母ミッキークイーンとのミッキーマドンナは4番手を進み、エフフォーリアの全妹にあたるジョスランは中団を追走。ゲートで立ち遅れたパラディレーヌは後方で末脚を温存した。平均ペースの逃げを打ったハードワーカーだが、戸崎騎手は3コーナーで早くもこれをかわして先頭に立ち、後続に2馬身ほどのリードをつけて直線へ。4コーナーで2番手に上がったミッキーマドンナは突き放され、かわって後方からパラディレーヌとゴーストファアが強襲。しかし直線半ばで早々にセーフティリードを開いたレーゼドラマの脚勢は最後まで鈍らず、2頭の追撃を寄せ付けずに勝利を飾った。米国のG1を3勝した名牝シアードラマを母に持つ本馬は、デビュー2戦目に中京・芝2000mの未勝利戦を5馬身差で圧勝し、初勝利を挙げた。続くゆりかもめ賞はスローの瞬発力勝負に対応できず6着に敗れたが、この日はいかにも「中距離向き」と映る非凡な持久力をアピール。前走の騎乗経験も踏まえ、思い切ったロングスパイトに打って出た戸崎騎手に、節目のJRA通算1600勝をプレゼントした。今後はオークスへ直行。東京・芝2400mの舞台も経験済みで、桜花賞組との激突が楽しみだ。

父キズナ

北海道新栄町 株式会社ノースヒルズ生産 詳細はP.6参照

母シアードラマUSA

北米24戦7勝(マディソンS^{G1}、パーソナルエンサインS^{G1}、デラウェアH^{G1}、ロイヤルデルタS^{G2}、ラトロワヌS^{G1}2着、ラトロワヌS^{G1}3着)、16年輸入サトノルーチェ(18 牝父ディーブインバウト)中央20戦2勝
ハイエスティーム(19 牝父ディーブインバウト)中央20戦3勝
ピクシレーション(20 牝父ハーツクライ)中央17戦2勝 ④
ルージュアベリア(21 牝父キズナ)中央10戦2勝 ④

レーゼドラマ 本馬(22 牝父キズナ)中央4戦2勝(フラワーC^{G3})獲得総賞金
44,167,000円
(23 前年種付せず)
(24 牝父キタサンブラック)

祖母リヴェティングドラマ Riveting Drama

アメリカ産 不出走

ドラマズウェイ Drama's Way(99 牝父Farma Way)北米2勝(スカーレットアンドグレイH)
リーヴィングオンアジェットプレーン Leavingonajetplane(00 驕父TejanoRun)北米11勝
ドラマティックラン Dramatic Run(01 驕父Tejano Run)北米7勝
マルターズマッシュプUSA(03 牝父Yes It's True)中央4勝(フジユースタンドS、多摩川特別)
コーヒーカン Coffee Can(04 牝父Kissin Kris)北米3勝(オータムリヴズS・L3着)

ビッグドラマ Big Drama(06 牝父Montbrook)北米11勝(BCスプリント^{G1}、スマイルスプリントH^{G2}、ミスタープロスペクターS^{G3}、デルタジャックボットS^{G3}、レッドレジェンドS・L、フォアゴース^{G1}2着、アルフレッドGヴァンダービルトH^{G1}2着)、米チャンピオンズプリンター、種牡馬
リトルドラマ Little Drama(08 驕父Burning Roma)北米4勝(フィルモントS・L、フランクゴメスメモリアルS、ボールドルーラーH^{G3}2着、スウェイルS^{G2}3着、ハッチソンS^{G2}3着)

クイーンドラマ Queen Drama(09 牝父Burning Roma)北米2勝(フロリダスタリオンスーザンズガールS)、**ノーブルドラマ** Noble Drama(サンシャインミリオンクラシックS)の母

シアードラマUSA(10 前出)

絶好調のキズナ産駒がワンツースリー

昨年、2歳および総合の両部門でJRAリーディングサイヤーに輝いたキズナは、年が明けてからも順調に実績を重ね、3月10日時点で首位に立っている。近年は3週間後の桜花賞より、二冠目のオークスを見据える中距離タイプが多く駒を進めてくるフラワースCも、そんなキズナの産駒たちが1、3着を独占。とはいえ未勝利戦、牝牡混合の1勝クラス特別を連勝中で圧倒的な支持率1・9倍を集めたパラディレーヌは2着に敗れ、その前には5番人気の1勝馬レーゼドラマが立ち回しは良かった。

レースを先導したのは意欲的に飛び出したハードワーカー。レーゼドラマ